

カメラ用高耐久USBレンズヒーター 取扱い説明書

カメラ用USBレンズヒーター線及び接続USBケーブル 1本

商品お渡し時にヒーター線とカメラ用USBレンズヒーター線専用接続USBケーブルは接続された状態でのお渡しになります。

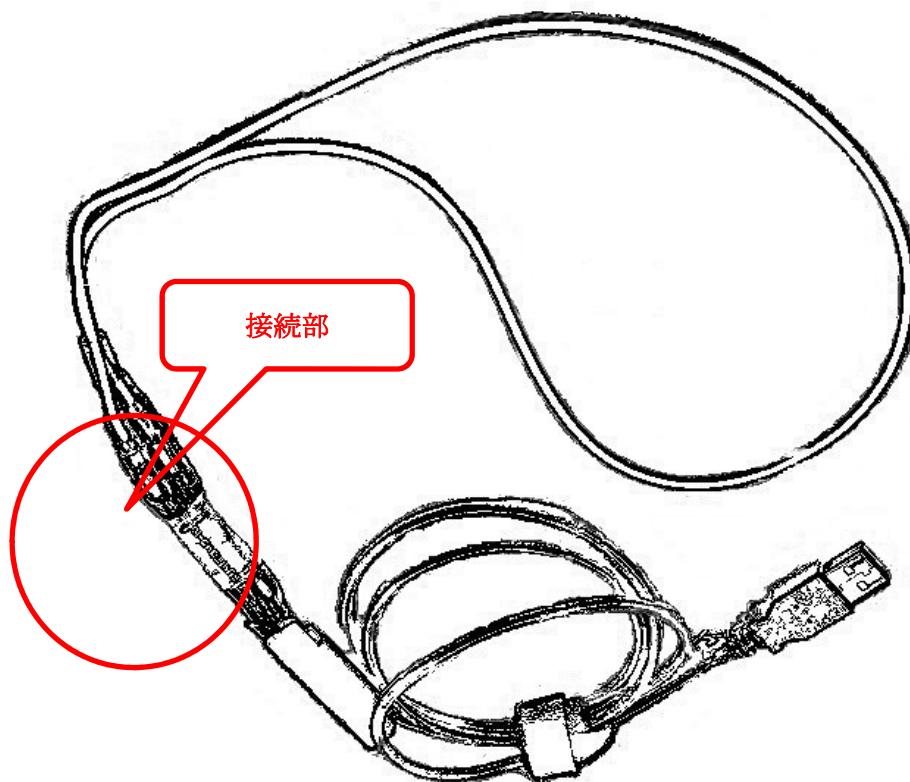
注意事項

使用温度や状況によっては効果が出ない場合も御座います。

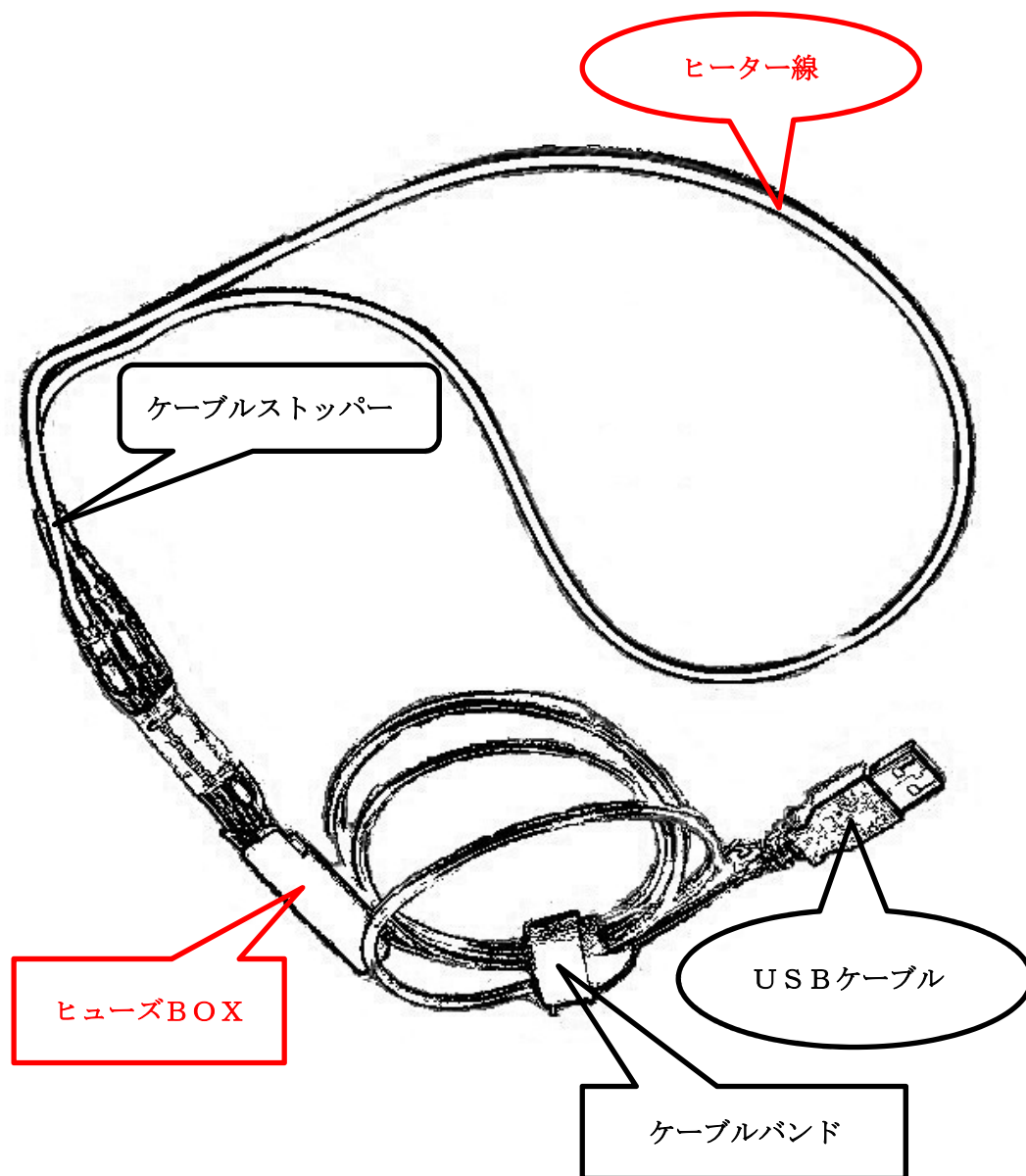
ヒーター線とヒーター線専用USBケーブルの接続口はUSB線側が細線の為、大変切断しやすくなっておりますので、取り外しをしないようお願いいたします。

モバイルバッテリー以外のUSBポートに接続するのは発熱し発火する恐れがあり、大変危険ですのでおやめください。

乾電池でのご使用は、乾電池自体が発熱し、液漏れや発火する恐れが御座いますのでおやめください。



各部説明

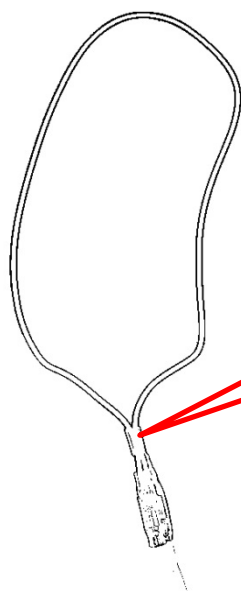


ヒューズBOX内のヒューズはミニガラス管2Aヒューズが入っております。
ヒューズ交換の際はミニガラス管 2Aヒューズを入れてください。

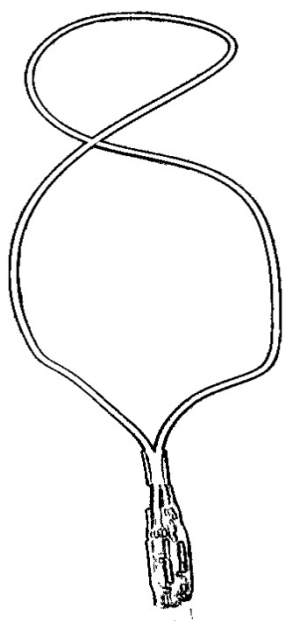
もしヒューズが切れ、交換しても切れる場合には、カメラレンズ用ヒーターや
モバイルバッテリーの不具合が考えられますので、ご使用をおやめください。
DC 5V固定 1Aから2Aまでで動作確認をしております。
それ以外の電圧や電流を流さないでください。

カメラレンズへの取り付け方

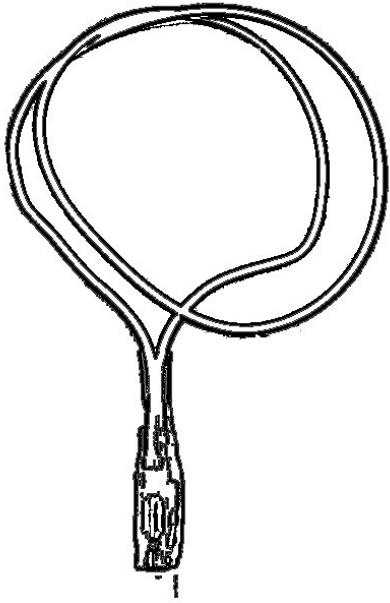
取り付けやすいように、あらかじめカメラを三脚に固定し、
レンズフードを外して作業開始してくださいませうお願いいたします。



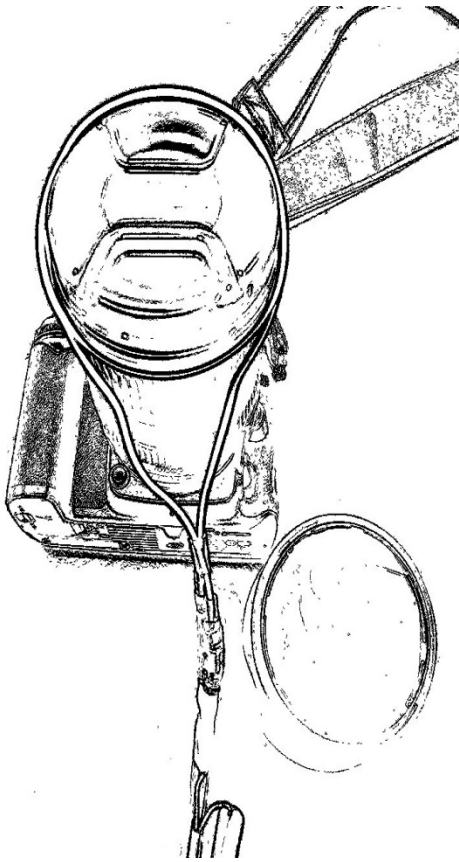
- ① カメラ用USBレンズヒーター線を伸ばしケーブルストッパーを下げます。



- ② ヒーター線を1回ひねります。



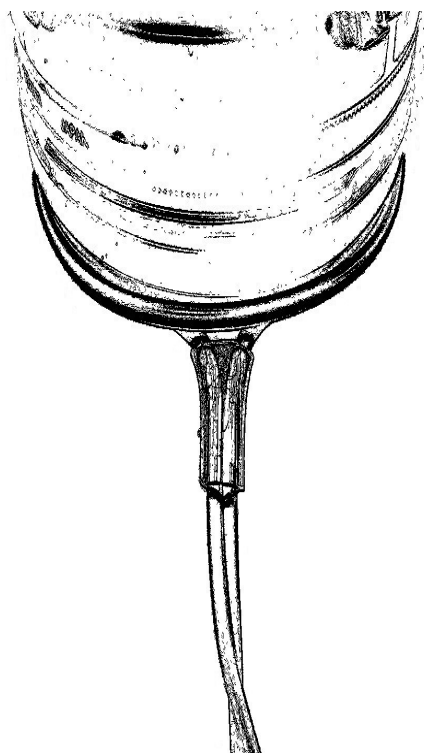
- ③ ひねったヒーター線を手前へ折り返します



- ④ 輪を作ったヒーター線をレンズに通します。

この時に出来るだけレンズの前玉寄りにヒーター線を配置してください。

レンズフードにヒーター線を巻くと、ヒーター線がずれて効果を発揮しない場合があります。ご注意ください。



- ⑤ ケーブルストッパーを上げて
ヒーター線をレンズに固定
します。

ご使用の状況に応じて、付属のケーブル
バンドで余ったUSBケーブルを三脚
等に固定するのも使えますのでご利用
ください。

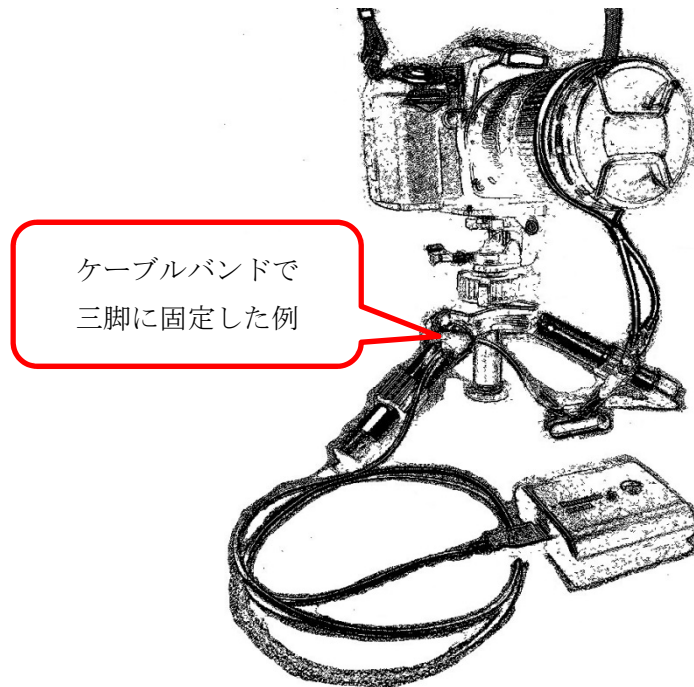
(図はわかりやすいように
ヒーター線を下げて止めてあります。)

ヒーターの取外しは、ケーブルストッパーを下げ、レンズ前玉から
ヒーター線を外してください。

レンズヒーターが前玉より装着できない場合は、レンズをボディに装
着前に、レンズヒーターをマウント側より通してからレンズをボディ
に装着してお使いください。

(レンズ径によってはヒーターが通らない場合もございます。)

カメラ用 USB レンズヒーター装着イメージ図



ヒーター線の一周巻

4月頃より、外気温度があがり、自然放熱しにくくなる為にヒーター線が発熱しすぎる場合があります。発熱しすぎる場合は、ヒーター線を二周巻にしてヒーター線の隙間を作るか、温度コントローラーをご使用ください。

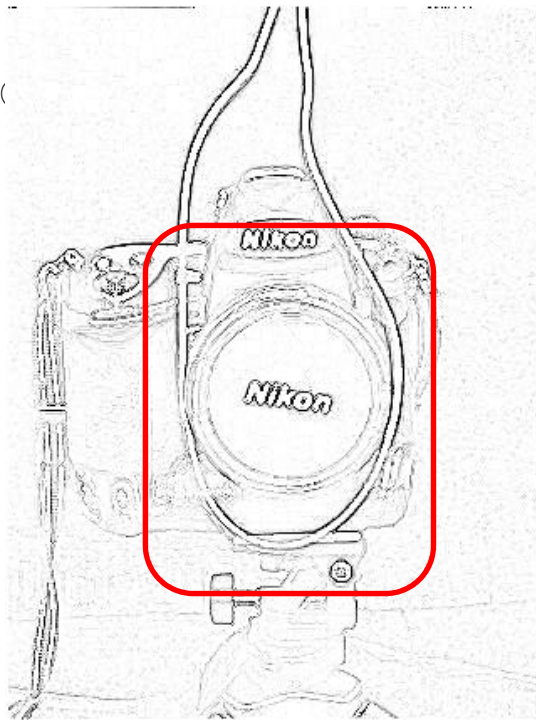
必ず、ヒーター線は二周巻き以内でお使いください。巻きすぎますと、発熱しすぎて危険です。

装着し難いレンズへの装着方法

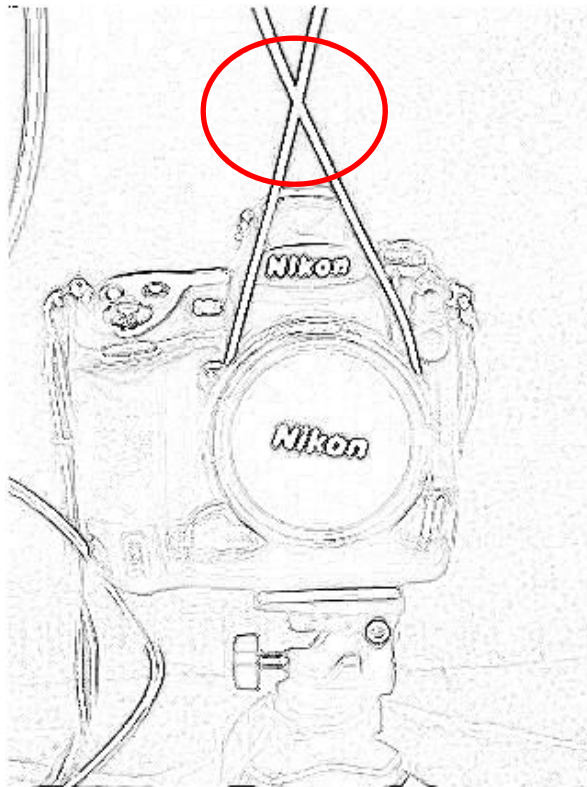
CANON EF11-24mm F4L USM
NIKON AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED 等装着しにくい
レンズがあります。

高耐久レンズヒーターを伸ばした状態からの説明になります。

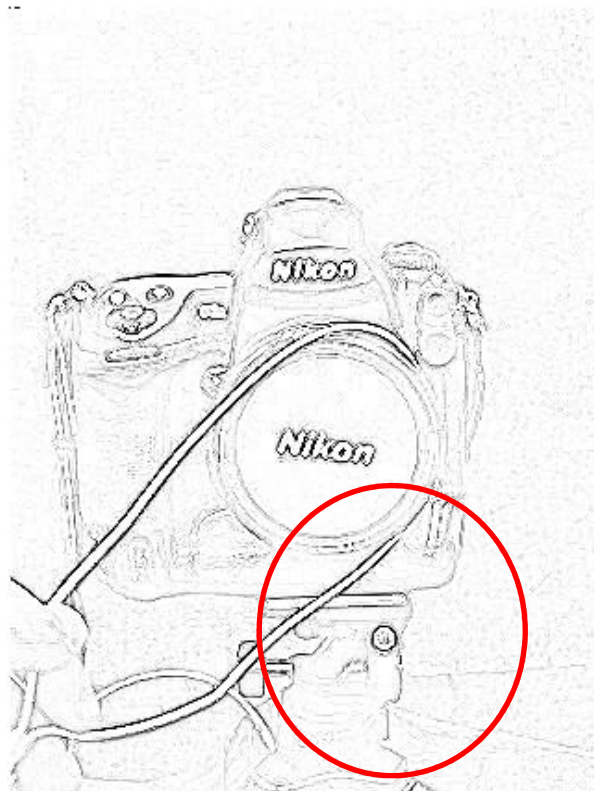
あらかじめ、レンズフードは外しておいてください。



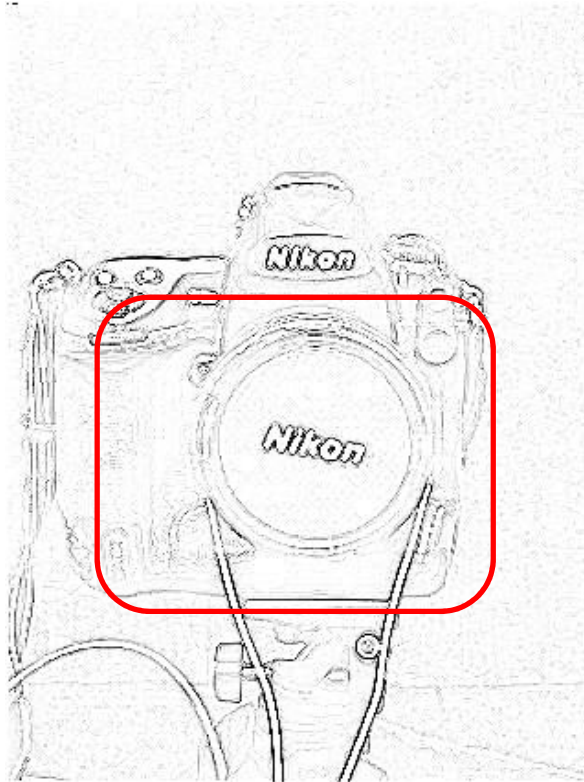
①高耐久レンズヒーターの
ヒーター線をレンズの下から
通す。



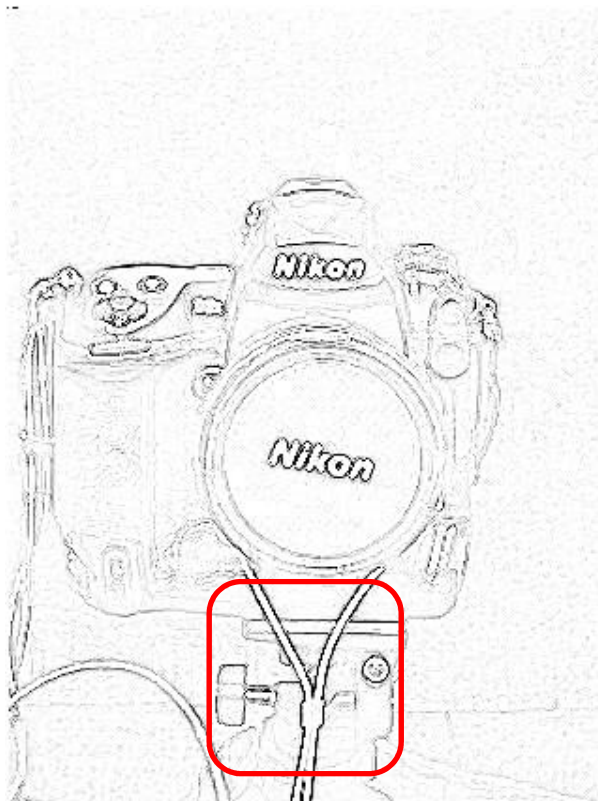
②ヒーター線をレンズの上でクロスします。
(ヒーター線をひねって交差させる。)



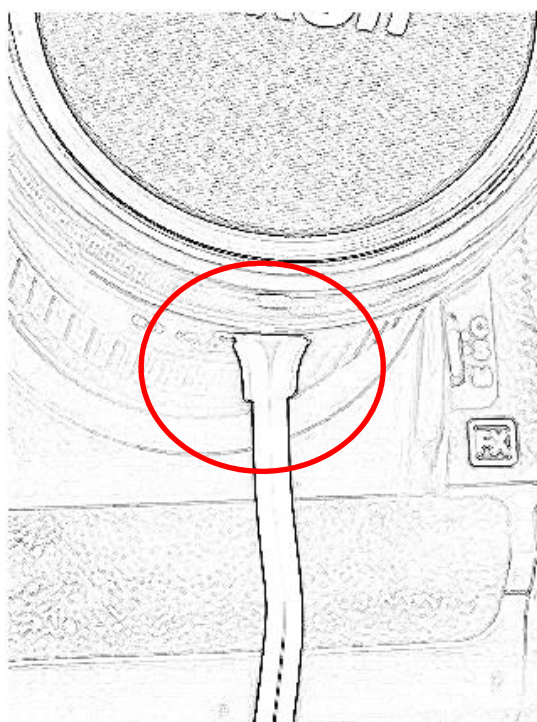
③ヒーター線を交差しないように、レンズの左右どちらか一方へ通します。
片方が通りましたら、反対側も通します。
(ヒーター線は下で交差するようにお願いします。)



④ヒーター線がなるべく交差しないように調整し、前玉に寄せる。



⑤ケーブルストッパーで固定する。



⑥ケーブルストッパーをちゃんと根本まで上げて固定する。

取外しは、逆の手順

保管方法は USB レンズヒーターと同じ手順でお願いします。



<https://www.hi-ta.net/>